

<基本目標①> 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

		K P I	次期総合戦略への掲載方針	
国内・外への市場 拡大及び新商品開 発件数	1	境港取扱貨物量の設定	・掲載しない K P I達成のために市として事業を実施する方針はありません。	
	2	K P I (R O R O船) この項目のK P Iにした方が良い ※事務局注…(3)社会基盤の整備「③みなとを核にした官民連携による賑わいづくり」に「国内RORO船定期航路就航」のK P I設定あり。	・掲載しない まずは、就航を目指すということになることから、現在の記載で問題ないと考えます。	
	3	貿易額に関する指標	・掲載しない K P I達成のために市として事業を実施する方針はありません。	
			具体的施策	次期総合戦略への掲載方針
	4	境夢みなとターミナルでの、中海・宍道湖・大山圏域市長会が連携したP R (物産展等) の実施	・掲載する 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、「国内及びインパウンド観光の推進」の一環として実施していく方針です。	
	5	2022年にはターミナルも完成し注目を浴びることは間違いありません。県産品のPR～販売に関してさらなる注力を期待します。	・掲載する 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、「国内及びインパウンド観光の推進」の一環として実施していく方針です。	
	6	境港サーモンの利用と商品開発・売り込みを考えてはどうでしょう。	・掲載済み 既存施策「官民連携による境港産農産物の付加価値向上(ブランド化)とPR強化及び販路拡大のための支援体制の充実」に包含。	
	7	水産加工品の機能性調査(栄養素の健康面への評価、鳥取大学や水温研究所との連携)	・掲載しない 各製造会社が商品PRにあたり実施しているため、市からの機能性調査は不要と考えます。	
	8	韓国、ロシア以外の国への市場開拓	・掲載する 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、「インド(ケララ州・台湾との経済交流の拡大)を実施していく方針です。	
	9	紅ズワイ蟹のP Rの支援	・掲載済み 既存施策「官民連携による境港産農産物の付加価値向上(ブランド化)とPR強化及び販路拡大のための支援体制の充実」に包含	
10	現在、水産加工品など市場開発に向けて、各機関が様々な出展PRを行っていることから、境港市と各企業との協議の場を設け、何が足りないか等検討することが必要。	・掲載済み 既存施策「官民連携による境港産農産物の付加価値向上(ブランド化)とPR強化及び販路拡大のための支援体制の充実」に包含		
産業振興・雇用創出			K P I	次期総合戦略への掲載方針
	11	小中学生の職場体験に関する指標。対象は市内外。境港特有の農業・水産業に触れ、働く大切さ、境港の良さを体験させ担い手を発掘。	・掲載しない 市内生徒については、中学時に全生徒対象に実施済み。市外からの受け入れについては、今後、別の枠組みでの実施を検討します。	
			具体的施策	
	12	働き方改革が中央で取沙汰される中、地方の中小企業がどこまで迎合・追従できるのか。特に水産業の勤労実態は働き方改革が理想とするそれとは対極にあり、どう対応をしていくかが最大の課題。できなければ、当然有効人材は他産業へ流れ、人材確保・育成など皮算用に過ぎない。ここは業界全体での一貫した対応が不可避ではないか。	・掲載しない 市としては、県と協力して研修の実施や総合高校からの受入等を進める。	
	13	農業・水産業に対し新たに取り組む若者は多い様に思います。さらにビジネスが発展する機会の創出を希望します。	・掲載済み 既存施策「沿岸、沖合漁業等への新規就業希望者への研修等を実施する事業者への支援や新規就農者の就農初期費用の助成などの新規就業環境の充実」に包含。	
	14	市全体に荒廃地が多いことをどうにかしないといけない。その土地に合った野菜・花などの専門的知識を取り入れる。行政と協力する方向で地域でできることは。	・掲載済み 既存施策「荒廃農地の有効活用を図るため、農業公社による農地の流動化の促進」に包含。今後、所有者や地域により関心を持ってもらうための取組みを検討します。	
15	IoT、AIを活用したスマート農業、スマート漁業の推進(研究、助成)	・掲載しない 農業に関しては、要望もなく、必要性は感じていません。漁業に関しては、民間主導で研究をしており、地域水産業再生委員会を中心に取組を進めています。		
16	外国人労働者との交流(技能実習生、改正入管法の適正運用)	・掲載する 既存施策「外国人労働力の受入れの検討」を「外国人技能実習生との交流」に変更し、外国人技能実習生の生活環境等の向上に取組みます。		

企業の誘致及び起業・創業の拡大	17	若者へ農業・水産業の魅力を紹介	・掲載済み 既存施策「沿岸、沖合漁業等への新規就業希望者への研修等を実施する事業者への支援や新規就農者の就農初期費用の助成などの新規就業環境の充実」に包含。	
	18	沿岸漁業は厳しい経営状態にあることら、魚介類の6次産業化や漁村市の開催回数の増加。	・掲載済み 既存施策「6次産業化に取り組む民間事業者や団体などへの支援制度の整備」に包含。漁村市は5月～9月（8月は高温であり開催無）に実施しており、過去に10月以降にも実施した際は参加者が落ち込んだことから現在の形になっており、開催回数を増やすことは難しいと考えます。	
	19	荒廃地再生に向け、大手健康食品メーカーと連携し、農産品ではないサプリメント等に利用できる産物の企画。	・掲載済み 既存施策「荒廃農地の有効活用を図るため、農業公社による農地の流動化の促進」に包含。農産品ではない産物の企画については、今後、研究していきます。	
	K P I			
	20	市幹部・担当者の企業訪問数（活動量を指標化）	・掲載しない 企業訪問数は管理していますが、目標達成のために費用対効果の薄い活動をすることがあってはいけないため、目標としては掲載しません。	
	具体的施策			
	21	至極一般論ではあるが、どの産業に特化し、どんな魅力を創出するのか、まずはその方向性の決定に始まり、そのベクトルにあった企業を探索、或いは起業家を募集することが必要ではなかろうか。	・掲載済み 既存施策「地域の特性・実情に応じた業種に対する企業誘致活動の推進」に包含。	
	22	竹内南地区の未売却地への商業施設等の誘致	・掲載済み 既存施策「竹内南地区貨客船ターミナル整備との相乗効果により、物流・人流の拡大に資する企業・施設の誘致活動の促進」に包含。	
23	サイクリングロード開通をにらみ自転車関連企業の誘致（シマノ） ※事務局注…シマノは自転車用品・釣り具用品を主に扱う企業	・掲載しない 県が中心となって、誘致活動を実施します。		
24	食の6次産業化（漁師のレストラン）	・掲載済み 既存施策「6次産業化に取り組む民間事業者や団体などへの支援制度の整備」に包含。漁師のレストランについては、実現可能性を研究していきます。		
25	大型雇用が可能な企業が進出したとしても、労働者の確保が難しいことも事実。水産資源を利活用できる研究機関等の誘致を目指すことも必要。	・掲載済み 既存施策「鳥取大学の水産学科や国・県の補助機関、研究施設などの設置に対する働きかけ」に包含。		
観光地の魅力向上による滞在型観光の推進	K P I			
	26	スポーツツーリズム、ブルーツーリズムの推進 ※事務局注…K P I の指定はないが、具体的施策に既に類似の文言があるため、K P I に割り振り	・掲載する 「新規体験メニューの造成件数」としてKPIを設定します。	
	具体的施策			
	27	今以上の地域間連携。	・掲載しない 継続して、中海・宍道湖・大山圏域市長会や鳥取県西部地域での連携を実施していきます。	
	28	境港市内の観光地の周遊を促進する（交通手段、情報提供手段の確保）	・掲載済み 既存施策「水木しげるロードと他の観光施設を結ぶ無料シャトルバスの運行などの二次交通の充実」に包含。	
	29	みなと祭、妖怪ジャズの変革期に来ている様に思います。組織全体を再編し次のステップに進んでもらいたいです。 ジャズフェスは少しずつ今の世代にマッチするよう変化していますが、みなと祭の変化が見られません。個人的意見ですが花火がどうにも情けないです。低予算でもすばらしい花火大会は多くあります。早急に業者の変更を希望します。	・掲載しない 意見としてお受け取りします。	
	30	ヨットの魅力を応援、知名度を上げていくため、高校生に向けての援助、公共マリーナ・ホテル、近いところにあることをPRすべき。	・掲載しない 境港がヨット・セーリング等のマリンスポーツに適していることは、県と協力して、PRしていきます。	
	31	農作物（綿、ネギ、サツマイモ）の体験学習、港（遊覧、市場見学）、水木ロードと併せて観光ルートを作成	・掲載する 「新規体験メニューの造成件数」としてKPIを設定します。	
	32	水木しげるロードにの街並みはきれいとは言えない。樹木の周り・大正川の植え込みの雑草、大型駐車場の周辺は特にきれいではない。ボランティアの清掃も制限がある。	・掲載しない 各管理者に適正な管理を行うよう促します。	
	33	スマホアプリの活用（AR、VR）	・掲載済み 既存施策「圏域内観光情報アプリの活用などの観光ICT化の推進」に包含。	
34	岸壁での集客イベント	・掲載しない 海岸沿いでは、民間団体により「大漁祭」が実施されています。新たなターミナルでは、中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、PRイベントを実施していく方針です。		

	35	水木ロード周辺のトイレの整備、ロードのマップにトイレの位置を表示	・掲載しない ロードのマップにはトイレの位置が表示してあるかと考えますが、具体的に、表示がないものをお示しいただけると対応します。
	36	地元の魚料理店への支援	・掲載しない 魚料理店に限定した支援は検討しておりません。
	37	境漁港、高度衛生型市場を観光客に案内	・掲載済み 既存施策「水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭、境漁港見学ツアー等のイベントの充実など、水産資源を生かした観光の推進」に包含。
	38	中海・宍道湖・大山圏域の観光マップ、ロードマップの作成	・掲載する 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、「国内及びインバウンド観光の推進」の一環として実施していく方針です。
	39	関西圏からの集客を増やす為、智頭急行を米子駅まで延長	・掲載しない 市として事業を実施する方針はありません。
	40	滞在を促進するためのホテルの誘致や、民泊施設、「旅籠屋」のような自分たちで食事が作れる施設の誘致。加えて、ロードに屋台村のような施設があり、市民と観光客が共に飲食できる場所があれば、市民と観光客が「ほっこり」とした関係が醸成されると思う。	・掲載しない ホテルや旅籠屋は既に立地しており、民泊施設も民間事業者により実施されている。ロードの夜間の賑わい創出も民間事業者により進められているため、市が率先して、進める考えはありません。
観光の振興	具体的施策		
	41	公共フリーWi-Fiの整備（主要観光地）	・掲載済み 既存施策「クレジットカード・電子マネー対応、免税店の開設、公衆無線LANの整備、多言語対応ガイドマップの作成などの外国人観光客受入体制の整備」に包含。
	42	近年フリーで動かれるクルーズ船観光客が多く感じます。4次交通に関しては、手厚いサービスがあると思うのですが、受入の体制強化を希望します	・掲載済み 既存施策「クルーズ客船、国際チャーター便等の外国人観光客に対するお出迎え、お見送りイベント、交流イベントなどの実施によるおもてなしの向上」や「クレジットカード・電子マネー対応、免税店の開設、公衆無線LANの整備、多言語対応ガイドマップの作成などの外国人観光客受入体制の整備」に包含。
	43	SNSによる発信、（外国人による境港市の魅力を発信）	・掲載済み 既存施策「Facebook、TwitterなどのSNSやYoutubeを活用した情報発信の充実」に包含。外国人による魅力発信については、県が海外の有名写真家やブロガーを招聘し、境港市を含めた鳥取の魅力を情報発信中。
	44	観光ガイドで外国語会話ができる人材が必要。クルーズ客船以外のおもてなしを図る。	・掲載しない 市として、外国語会話ができる人材をガイドとして雇う考えはありません。
	45	お寺巡りツアーなどは。正福寺は鬼太郎にも関係あるのでは（水木しげる先生）。案内をしてみるのもいかが。自転車専用ロードが完成となれば、観光客も増えるのを期待したい。	・掲載する 「新規体験メニューの造成件数」としてKPIを設定し、その候補の一つとして、実現可能性を検討します。
	46	市民対象の英会話教室	・掲載しない 民間企業により実施されていることから、市の事業としては実施しない方針です。
	47	キャッシュレス決済（スマホ決済）導入	・掲載済み 既存施策「クレジットカード・電子マネー対応、免税店の開設、公衆無線LANの整備、多言語対応ガイドマップの作成などの外国人観光客受入体制の整備」に包含。
	48	米子空港駅の整備、列車内での英語のアナウンスをJR西日本へ要望	・掲載しない JR西日本への要望を施策として掲載はしませんが、今後、要望を実施していきます。
	49	外国人観光客に旅程、目的等のアンケートの実施し、それに合わせた対応	・掲載済み 既存施策「クルーズ客船、国際チャーター便等の外国人観光客に対するお出迎え、お見送りイベント、交流イベントなどの実施によるおもてなしの向上」に包含。
	50	クルーズ客に英語の市内マップを渡す	・掲載済み 既存施策「クルーズ客船、国際チャーター便等の外国人観光客に対するお出迎え、お見送りイベント、交流イベントなどの実施によるおもてなしの向上」に包含。
51	飲食店、土産物店、観光案内所、水木記念館などへの翻訳機の配置。NTTの機械は月々のレンタル料で使用でき、大元がAIであるので、言葉の熟練度も日々更新される。	・掲載しない 各事業者が対応すべきと考えます。なお、水木しげる記念館では英語・中国語・韓国語・ロシア語での音声案内を実施しています。	
	具体的施策		
	52	DBSを使った周遊型旅行は無理だと思います。目的をはっきりさせDBSはインバウンドに絞ってはどうでしょう？	・掲載しない 既存施策「県や関係機関と連携して、グループ旅行支援、DBSクルーズフェリー・ソウル便・香港便等を利用した周遊型旅行商品の造成支援などの充実」を受けてのコメントから思います。DBSを使った周遊型旅行はソウル便と組み合わせれば可能でしたが、ソウル便が休止となったため、この施策自体を本戦略からは削除します。
外国人観光客の誘客			

米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進	53	対岸からのサイクリスト誘客	・掲載する 新規施策「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースを活用した誘客促進」を追加します。
	54	新しい定期航路の開拓	・掲載済み 既存施策「物流拠点「境港」の利便性向上や航路ネットワークの充実を図るため、国内RORO船の定期航路化の推進」に包含。
	55	飛行機のグループ5人以上の搭乗者割引を高齢者夫婦1人にも適用することにより新規開拓が見込まれる。	・掲載しない 市として、割引を実施する考えはありません。なお、全日空により65歳以上の会員が利用できる「スマートシニア空割」が実施されています。
	56	弓ヶ浜サイクリングロードをDBSと合わせて韓国でPR	・掲載する 新規施策「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースを活用した誘客促進」を追加します。
	57	国内便のLCCの誘致	・掲載済み 既存施策「県や関係機関と連携した米子鬼太郎空港活性化の推進」に包含。
	58	ソウル乗換え、香港乗換えによる旅行商品の支援	・掲載しない ソウル便が休止となったため。
社会基盤の整備	具体的施策		
	59	新市場周辺のインフラ整備	・掲載しない 新たなインフラの整備は不要と考えます。
	60	これから境港市にとって注目されることが間違いない部分です。曖昧な計画でなく、市としてはっきりとしたテーマを見つけ取り組んでいただきたいです。	・掲載しない ご意見として受け取ります。
	61	水辺空間の利活用（釣り、レジャー、クルーズ、ヨット）	・掲載済み 既存施策「セーリングなどのマリンスポーツを始めとしたスポーツツーリズムやブルー・ツーリズム（漁村滞在型余暇活動）などを推進する体験メニューの造成と受入体制の整備」に包含。
	62	敦賀、博多航路の実現	・掲載済み 既存施策「物流拠点「境港」の利便性向上や航路ネットワークの充実を図るため、国内RORO船の定期航路化の推進」に包含。
	63	岸壁のにぎわい創出	・掲載済み 既存施策「夢みなどタワー周辺地区の魅力向上への取組の検討」に包含。
	64	港近くに道の駅を作り、近海の魚・野菜等を販売し、喫茶店など憩いの場をつくる。	・掲載しない 港近くには水産物直売センターが3か所あり、飲食店も併設しているため、市として、道の駅や憩いの場をつくる考えはありません。
	65	貨客船ターミナルから松江、大根島等観光地への道路整備。渡余子線の踏切の高架。	・掲載しない 引き続き、国・県に対して要望活動を行っていきます。
	具体的施策		
	66	周辺施設との調整が必須	・掲載しない
米子市～境港間高規格道路の早期実現	67	8の字ルートの推進	・掲載済み 既存施策「5市を2つの湖を介して結ぶ「8の字ルート」の早期完成」に包含。
	68	全国の重要港湾の中で、境港だけ高速道路が走ってなく、鮮魚など東京・大阪等への配送に時間がかかるとか。防災面を考えても避難するのに時間がかかることを国（国交省）・住民にもっとアピールする。	・掲載済み 既存施策「5市を2つの湖を介して結ぶ「8の字ルート」の早期完成」に包含。
	具体的施策		
境港出雲道路の早期実現	69	周辺施設との調整が必須	・掲載しない
	70	8の字ルートの推進	・掲載済み 既存施策「5市を2つの湖を介して結ぶ「8の字ルート」の早期完成」に包含。
	71	中海圏域全体で観光面、生活面でルートを作ることのメリットを国・住民にアピールする。	・掲載済み 既存施策「5市を2つの湖を介して結ぶ「8の字ルート」の早期完成」に包含。
移住・定住促進の促進	具体的施策		
	72	移住よりは定住。学生の地元離れ対策をはじめ、Uターン者が増えるような施策の拡充。	・掲載済み 既存施策「本市への愛着を醸成し、将来のUターンにつなげるため、子どもを対象とした郷土愛づくりへの取組の推進」に包含。
	73	流入超過の大阪圏に向けての情報発信	・掲載しない H29は大阪に対し、転出超過となっており、一過性のものと考えます（特に自衛隊員の異動が原因ではないかと考えられます）。大阪圏に限らず、情報発信は続けていきます。

住の促進	情報発信の充実	74	東京圏向けUターン情報の発信	・掲載する 「東京一極集中の是正に向けた東京圏からの移住の促進」として掲載します。
		75	年齢指定（40歳以下）夫婦で（家族が増える可能性大）住宅新築して移住する場合は、数百万単位で貸付け・5年以上住んだ時は返却不要とするか、固定資産税を5年間免除する等思い切った施策をする。	・掲載しない 夕日ヶ丘地区の定期借地権制度を利用すれば土地は51年間貸付され、土地の固定資産税はかからないことから、引き続き、本制度をPRしていきます。
		76	子育て支援・IUターン支援を含め、助成制度の確立など、具体的な提案を示すことが必要。	・掲載しない 子育て支援を中心に、支援を進めています。

<基本目標②> 「子育てするなら境港市」を標榜した子育て環境づくり

少子化対策・子育て支援	出会いの場の創出	具体的施策		
		77	初婚の方だけでなく、シングルさんの方向けの企画も積極的に行って欲しいです。企画としては難しいかもですが	・掲載しない 一般企画においてもシングルの参加は妨げておらず、また、シングルのみ参加可とするのは市が行う事業としては適切ではないと考えます。
		78	縁談相談日（仲人による）	・掲載する 新規施策「えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）と連携し、市内での出張相談会や企業の合同イベント等を実施」を追加します。
		79	企業にも働きかけ、合同お見合いはどうでしょう。	・掲載する 新規施策「えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）と連携し、市内での出張相談会や企業の合同イベント等を実施」を追加します。
		80	中海圏域での婚活事業	・掲載済み 既存施策「未婚、晩婚化の解消を図るため、中海・宍道湖・大山圏域（5市6町1村）で一体となり、地域の特色を生かした交流会などの婚活支援事業を実施」に包含。
		81	AIを活用した婚活事業	・掲載しない AIを活用するなら、マッチングの部分かと思いますが、県が「えんトリー」を開設しており、既に境港市の登録者もいる以上、市としてマッチングサービスを実施する考えはありません。
	安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実	具体的施策		
		82	官として助成を拡充し、民として特別休暇（産休・育休等）等の就業規則への明文化と促進、必要に応じて援助規定（例えば、出産手当・育児手当等）の新設・拡充を図る。	・掲載する 新規施策「男性の家事・育児・介護参加が図られるよう料理教室・介護教室の開催や休暇制度等の啓発事業の実施」を追加します。
		83	境港から米子への移住。出産に関して、待遇が米子の方が良いからでは。	・掲載しない 境港に産科がないのは事実ですが、出産という一時的な事柄により、転出が進んでいるとは考えていません。待遇についても、妊産婦健康相談や産後の赤ちゃん訪問などきめ細かなサービスを提供しています。
	84	境港ならではのブックスタート事業のさらなる充実	・掲載済み 既存施策「赤ちゃん教室、ブックスタート、親子関係づくり・地域交流促進のための学習会、講演会の開催など親子のかかわりやコミュニケーション力向上に向けた事業の充実」に包含	
ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援 女性活躍の推進	K P I			
	85	男性の育休取得数	・掲載しない KPIを設定するためのデータがなく難しいと考えます。	
	86	理解促進のためのママイベント、ワークショップ、女性グループづくりの指標化	・掲載する 「市民や事業所に向けたセミナー開催件数」をKPIに設定します。	
	具体的施策			
	87	ワーク・ライフ・バランスには個人差がある事を認識したうえでの工夫改善が必要かと…。	・掲載しない 個人差があることを踏まえ、能力活用についての周知・啓発を実施しています。	
	88	市内に社員の確保に苦しんでいる企業が多くある様に感じます。ワークライフバランスが問題なのかはわかりませんが、更なる理解促進は必要だと思います。	・掲載する 「市民や事業所に向けたセミナー開催件数」をKPIに設定します。	
89	ここの項目かわからないのですが、境港市の漁業関係の企業は外国人雇用に積極的だと思います。ほかの分野の企業にも情報の共有など必要かもしれません。	・掲載しない 水産関係の外国人労働者を対象とした「日本語教室」に今後はそのほかの業種の外国人労働者も参加していき、参加者だけでなく参加企業の交流も図りたいと考えています。		
90	男性を介護する場合、男性の家族の力を借りないと無理なので、その所の理解をしてもらえよう取り組みを（家庭介護負担の軽減に関して）	・掲載する 新規施策「男性の家事・育児・介護参加が図られるよう料理教室・介護教室の開催や休暇制度等の啓発事業の実施」を追加します。		

啓発・支援	女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減	K P I		
		91	男性（漁師）の育児休業取得推進	・掲載しない KPIを設定するためのデータがなく難しいと考えます。
		92	男性の介護休暇取得数	・掲載しない KPIを設定するためのデータがなく難しいと考えます。
		具体的施策		
		93	家庭介護実施者の中の就労（希望）者の実態調査を先行し、具体的必要支援策（物理的？時間的？金銭的？）を策定することが重要ではなからうか。いたずらにケースワーカー依存になることを懸念する。	・掲載しない 市の施策として掲載はしませんが、今後、家庭介護実施者の就労希望者の実態調査の実施を検討します。